

日本共産党 前杉並区議会議員

X(旧 Twitter) ID: @akikocurry



# の が き 野垣あきことまちづくりカフェ

子ども・くらし・平和



2025年1月号

連絡先 090-9293-8710 ご相談どうぞ!

くらしに希望が持てる年に

## 2025年 都議選・参院選に向けて今年も頑張ります



### ▲原田あきら都議と党区議団との新春宣伝

昨年の総選挙では、しんぶん赤旗が自民党の裏金問題をスクープし、与党を過半数割れに追い込みました。その後もしんぶん赤旗の申し込みが相次ぐなど、現役世代を中心に注目が集まっています。

### 野党の態度が問われる

新しい国会では選択的夫婦別姓や能登半島地震からの復興、学費無償化などの切実な国民要求を前進させるチャンスです。

少数与党となった石破政権は、国民民主党や維新の会を取り込んで補正予算を成立させましたが、国民要求との関係では根本的な矛盾を抱えています。

### SNSをどう使いこなすか

一方で、テレビや新聞など既存のマスコミの選挙報道の姿勢に対して有権者は疑問を抱いており、デマや真実を覆い隠すよう

なSNSでの発信が選挙結果に大きく影響するという現象も現れています。

日本共産党は街頭宣伝や対話で政策を語るとともに、SNS対策を強化し、都議選・参院選に取り組む方針です。

### 裏金事件は未だ解明されず

この間、自民党東京都連の政治資金パーティーの収入未記載の問題が発覚しています。12月の参議院の政倫審でも裏金疑惑は解明されず、「目くらまし政倫審」との批判を浴びています。

24日から始まる通常国会でも、裏金事件の解明、企業・団体献金の禁止が熱い焦点となります。

### 参院でも与党過半数割れを

金権腐敗政治を一掃し、くらし・平和などの国民のねがいに応えるには、参議院でも与党多数の壁を打ち破ることが必要になってきます。新しい政治を実現するため、今年都議会議員選挙と参議院選挙で日本共産党を躍進させてください。よろしくお願いたします。

2月2日(日)13時半～、井草地域区民センターにて、原田あきら都議も一緒に野垣あきこ地域の新春のつどいを行います。みなさんぜひご参加ください。

## 食品ロスの削減を

# フードドライブへの寄付 常設窓口が区立施設にあります



杉並区では、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品(食品ロス)の削減と有効活用のため、家庭で使いきれない未利用食品の常時受付窓口を設置しています。

### 近所の方から相談を受けて

12月26日、近所の方から「食べきれない食品があり物価高騰で大変な世帯や子どもたちに少しでも寄附できないか?」との相談があり、杉並区のフードドライブ事業を紹介しました。

「それはいい取組ですね」ということで、未利用食品(今回はレトルトの煮魚)をお預かりし、阿佐ヶ谷地域区民センターの受付にあるフードドライブの常設窓口へ届けてきました。

### 「フードドライブ」って何?

フードドライブとは、家庭で使いきれない食品を持ち寄り、福祉団体や施設などに提供する活動です。杉並区では提供された未利用食品を区内の子ども食堂、社会福祉協議会などで活用しています。

2023年度の実績としては1,769人から13,448個の食品提供を受け、子ども食堂に12,118個、社会福祉協議会に932個、その他に398個を活用してきました。

### 寄付できる食品は?

寄付できる食品は未開封のもので

- ・包装・外装が破損していないもの
- ・びん詰でないもの
- ・冷蔵・冷凍が必要でないもの
- ・医薬品(経腸栄養剤等)でないもの
- ・賞味期限が2カ月以上あり、明記されているもの(国産米、塩等を除く)、
- ・商品説明に日本語表記があるものになります。

下記の区立施設で受け付けていますので、みなさんも未利用の食品がありましたら、電話などで連絡してお持ちください。



また、スマートフォンの方はカメラで右の二次元コードをスキャンすると、杉並区のHPのフードドライブのサイトにアクセスできます。



### お近くのフードドライブ常設窓口

- ごみ減量対策課(区役所西棟7階)  
TEL 3312-2111(代)8時半～17時
- 阿佐谷地域区民センター  
TEL 5356-9501 9時～21時
- 井草地域区民センター  
TEL 3301-7720 9時～21時
- 西荻地域区民センター(勤労福祉会館)  
TEL 3301-0811 9時～21時

※各施設の受付状況等は変更になる場合があります。電話でご確認の上お持ちください。

## 杉並区議会の超党派の議員でハラスメント研修を実施



### エスカレートする区議会でのヤジ・暴言はハラスメント

杉並区議会では、本会議や委員会の場で、理事者（区長や部課長など執行機関の説明者として出席する人）に対し、名誉を傷付けるような発言や、恫喝的な質問を行う議員が問題になっています。

特に、第3回定例会の決算特別委員会では、攻撃的な質問だけでなく、理事者に対するヤジも酷く「聞かれたことに答えろよ！」（田中ゆうたろう議員）や、「虚偽の答弁する理事者もあるしなあ！」（安斉あきら議員）などの暴言が繰り返されました。

「議会の品位の保持」というレベルを超え、理事者に対するハラスメントではないのか、理事者の心理的な負担になっているの

#### 研修不参加の議員

- ◆自民（8名中5名）  
わたなべ友貴、へんみ純一、大和田伸吉田あい、藤本なおや
- ◆無所属・都民ファースト（全4名）  
安斉あきら、宇田川ゆうじ、井口えみあかねがくぼ舞
- ◆個人会派 5名  
倉本みか、横田政直、田中ゆうたろう堀部やすし、小林ゆみ

では、との指摘があります。

### 全議員に研修を呼びかけ

こうした状況のもと、複数の会派から、区議会全体でハラスメント研修を実施すべきとの要望が出されていましたが、理事会で交渉会派間の合意が得られなかったため、交渉会派の幹事長4名（共産・公明・立憲・維新無所属）が連名で全議員に研修の参加を呼びかけました。脇坂たつや氏（自民）、安斉あきら氏（無都）は名前を連ねませんでした。

### 研修に34名の議員が参加

12月6日、廣瀬行政研究所の廣瀬和彦氏を講師に、「議会及び行政におけるハラスメントとは」と題した講演が行われました。後日の配信参加も含め参加議員は48名中34名。議会事務局から事務局長と次長も参加しました。

3時間に及ぶ講演で、参加者はそもそも何がハラスメントに当たるのか、他自治体の議会での事例・対応などを学びました。

### ハラスメント防止対策を

全国にはハラスメント防止条例を設けている自治体が70ほどあり、議員から議員、議員から職員へのハラスメントを禁止している自治体もあります。神奈川県大和市は弁護士などを有する第三者相談窓口の設置や、行為者の氏名の公表（市長や議員）、職員の懲戒処分などの罰則規定があり、研修の実施も規定しています。

杉並区でも、職員団体から「職員が安心して管理職に昇進できる環境を整えるためにも、区議会においてハラスメント対策を検討してほしい」との要望書が区長に提出されています。

## 広報すぎなみ1/1号 防災特集を全戸配布しています

### 能登半島地震から一年が経過するも…

昨年の年始に発生した能登半島地震から一年が経過しましたが、復旧・復興は遅れに遅れています。

日本共産党は、他団体とも協力し現地に「被災者共同支援センター」を設置して被災地の現状をつかみ、政府要請や国会質問を繰り返してきましたが、今後も国や石川県に対し、「命を守る」「住み続けることをあきらめなくてよい」支援策を早急に講じるよう、強く求めています。

新年最初の「広報すぎなみ」1月1日号



では、防災特集が生まれ、防災マップと在宅避難ガイド（備蓄品や火災対策、情報発信ツールなどを掲載）と一緒に、区内32万世帯に全戸配布されました。



防災マップと在宅避難ガイドは、区HP、区役所、区民センター、区民集会所、図書館でも配布しています。

また、区HPと区防災課（西棟6階）では、英語、中国語、韓国語、ネパール語、タガログ語、ベトナム語表記の防災マップと在宅避難ガイドを配布しています。

上の二次元コードからも杉並区HPのそれぞれのサイトにアクセスできます。

### 防災対策を求めてきた党区議団

党区議団としても、昨年の第1回定例会で防災対策の強化として、区独自の地震シミュレーションマップの作成とともに、自宅で必要とされる備蓄品や家具転倒防止対策、感震ブレーカー設置助成のお知らせを掲載することなどを求めました。今回の区の取組は重要であり、今後もさらなる震災対策の強化に力を尽くします。

### 【あきらの部屋】

みなさん、お正月はゆっくり過ごせたでしょうか。私は年が明けてから映画「はたらく細胞」と「ブラックバード、ブラックベリー、私は私。」を観ました。昨年観た映画で良かったのはインド映画「花嫁はどこへ?」、ドイツ・ジョージアの合作「ゴンドラ」です。年末年始にTVで再放送していた「孤独のグルメ」の劇場版も始まっています。漫画が原作で多世代が楽しめるので観てみたい作品ですが、ミニシアターでの作品も今年はどんなものが上映されるか楽しみです。

